

なかまの

NO.523 全日本建設交通一般労働組合秋田県本部機関紙
2020年2月5日発行 〒010-0976 秋田市八橋南1-2-29
TEL018-823-7748 fax018-823-7751
Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp

春闘討論集会・旗びらきを開催

県本部の春闘討論集会・旗びらきが1月12日に秋田市で行われ、組合員25名が参加し春闘方針を満場一致で決定しました。旗びらきには、秋田県労連の加賀屋議長と日本共産党県委員会の富岡書記長が来賓のあいさつを行いました。



討論集会に先立って、秋田市平和委員会の生田目昌明さんが「イージス・アショアは日本を守らない、そして市民を危険にさらす」と題して講演しました。（上の写真）

以下は講演要旨です。
「イージス・アショア配備によって、秋田は半永久的に他国の武力攻撃対象の年に変貌（へんぼう）する。第一目標の武力攻撃（核攻撃）を受けるリスクが生まれる。」

日米安保条約にもとづくイージス・アショアが防衛的兵器であるとは、中国・ロシアにおいては認識されていない。飛んでくるミサイルを補足するためレーダー波が照射されるが、発生する電磁波のため様々な病気の発症（急性のやけど、発熱、白内障など）が予測される。抑止力で脅威（きょうい）（きょうい）はなくせない。外国との外交を活発にし、信頼関係を築くことでしか脅威はなくなるしない」



乾杯の音頭をとる小坂支部の鹿兒島さん

ひきつづき春闘方針案の提案と討論が行われました。発言内容は以下のとおりです。
■秋田運送支部は春闘で基本給の底上げを実現したい。
■ダンプ支部は使用促進闘争で経費込みの常用単価1日5万円を実現した現場では、他のダンプにも影響を与え、1日3千円の常用単価引き上げが実現した。ダンプ労働者が人並みに生活できるようがんばっていききたい。
■第6陣のじん肺根絶裁判は3月の和解にむけて動いている。
■イージス・アショア配備反対の運動に関わっていききたい。
春闘方針案は、満場一致で採択されました。

イージス・アショア配備計画反対署名 4万筆こえる

2月2日（日）、イージス・アショア新屋への配備計画に反対を求める県民署名集約の報告会が秋田市役所（センタース）で行われました。県議会と市議会あての署名がそれぞれ42,123筆（うち県外の署名者数881筆）、41,874筆（うち県外の署名者数1,482筆）が集約され、2月6日に提出されます。

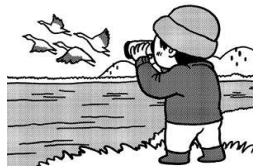
参加者からは、企業やスーパー、町内会などで署名を集めた話



が出されました。来賓として、寺田学衆議院議員、緑川たかし衆議院議員秘書、寺田静参議院議員が紹介され、昨年野党統一で当選した寺田静議員が代表して「与野党を越え、声を集めて新屋への配備計画撤回を勝ちとろう」とあいさつしました。

また紹介議員となる日本共産党、社民党の県議会議員、市議会議員の代表があいさつしました。桜田憂子代表は「集まった署名を2月議会に届け、配備計画反対の請願を決議してもらおう」と報告しました。

まだ手元に署名がある方は、県本部に送ってください。



《訂正》先月号の石塚委員長のあいさつ文で、県本部結成30年とありますが、正しくは20年です。お詫びして訂正します。



八面六臂（はちめんろくべい）
全国的な暖冬により、雪に関連したイベントの中止や規模縮小が相次いでいる。雪がないと通勤や通学がスムーズになり、雪かきの必要もないので、雪国に暮らす一般市民からすると生活は楽になるが、観光や農業、除雪関連業者などに大きな影響が生じている。▼私の住む横手市でも1月末時点での積雪は0センチ。小正月行事の「かまくら」も規模が縮小される。2020年の雪が少ない根本的な原因は、温暖化による海面温度の上昇が挙げられている。▼温暖化と云えば、昨年9月頃から続くオーストラリアの森林火災は、日本の広さの半分近くを消失させた。希少な固有種を含む12億匹以上の動物たちが犠牲になったという、重いやけどを負ったコアラが、むさぼるように水を求める映像とともに、世界中に驚きと悲しみが広がっている。もともとこの原因は落雷とみられるが、ここまですべてを大きくしたのは温暖化の影響だ。▼昨年、オーストラリアでは、国全体の年間平均気温が過去最高で、平均降水量が過去最少だった。雨不足による乾燥が森林火災を悪化させている。森林火災の影響は、生態系の破壊だけではなく、まらぬ。森林は二酸化炭素を吸収、固定する役割を果たしている。森が焼ければ、それらが一気に放出される。▼現状のままでは、世界の平均気温は産業革命前より3度以上上昇し、未知の大災害が頻発するようになるというのが、もはや科学の常識だ。英BBCのサイトによると、英国気象庁などの研究チームは「大規模な森林火災は、今は異常な災害だ。だが『3度上昇』の未来では、日常の光景になるだろう」と予測する。▼もうこれ以上、温暖化対策を先送りする余裕はないということだ。（博）



米国大統領選を前におろかな選択

米軍が1月3日、イラン軍部の実力者である革命防衛隊コッズ部隊のカセム・ソレイマニ司令官を「標的」に空爆し殺害。これを契機に、米国とイランの正面衝突への憂慮が急速に広がっている。中東地域の緊張の高まりが、一気に第3次世界大戦へ突入するのではとの予見が世界を駆け巡った。

イラン指導部は「苛酷な報復」を警告。米国も迅速な対応として兵力3,500人の追加派兵を急ぎ、トランプ大統領はイランが報復すればイランの52カ所に反撃する準備ができていると挑発する。

権力が選挙を前に対外危機を仕掛け、国民の目を疑惑からそらせるのはトランプ氏に限らない。いわば常套手段だ。そういえば「国難選挙」なんていうのがあった。リーダーの見通しのない愚かな選択が大戦争に発展した例は歴史上いくつもある。一刻も早い事態の鎮静化が求められる。

「(司令官は) 米国人に対して差し迫った邪悪な攻撃を企んでいた」ためとトランプ氏は説明するが、自衛権を盾に隣国イラクにおいてドローンで攻撃し、主権国家の高官を無断で殺害した。今回の暴挙は到底許されるものではない。米国はこの空爆が国際法違反との議論を引き起こしていることに對し、謙虚な姿勢をとることが求められる。打開の道は外交的解決の道に立ち戻ること以外にないのだ。

現時点で、日本政府がすべきことは米国の歓心を買うことではない。まずは国会の議論なしに決定した中東への自衛隊の派遣をやめ、外交的努力に徹する姿勢を示すべきだ。



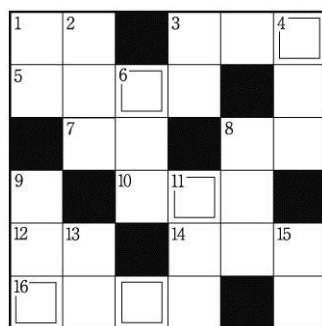
飯田光徳 社会福祉法人「野の花福祉会」



自衛隊の中東派遣はただちに中止を



クロスワードパズル



カギを解き、二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何ですか。

【タテのカギ】①鶴のひと—— ②平和憲法の——を発揮させよう ③新——採用が減る ④火山が——した ⑥捕虜。恋の—— ⑧町→町民、市は ⑨前期の対 ⑪——物に福 ⑬模様がきれいな——紙で鶴を折る ⑮寄る——波

【ヨコのカギ】①話の——を折る ③手紙を郵便で——する ⑤サントの出入り口? ⑦おじいさんは山へ柴——へ ⑧歯の治療に——医院へ ⑩嗜好。私の——に合う品 ⑫福は—— ⑭風刺と機知に富んだ短い話 ⑯故郷

【前回の答え】 カルタトリ (かるたとり)

応募者2名、正解者2名でした。

個人加盟の笹 耕市さんに1,000円の図書カードを送ります。答えをハガキかファックス、メールで送ってください。正解者の中から1名の方に1,000円の図書カードを贈ります。その際、住所・氏名・年齢(さしつかえなければ)・支部・分会名を忘れずに書いてください。初めての方の投稿大歓迎です!

応募のしめ切り⇒2月25日の消印まで有効。発表は次号で。

ヒント→〇キ〇〇〇〇…今年が出るのが早いかも

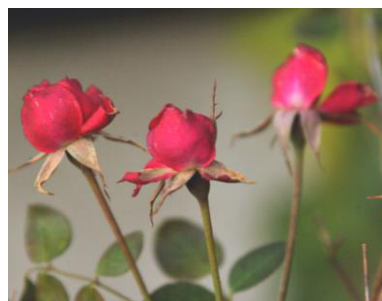
余白に意見や組合への要望などを必ず書き添えてください。とく名、ペンネーム可。

仲間の皆さん、ふるって応募を!

《あて先》〒010-0976 秋田市八橋南1丁目2番29号

Fax. 018-823-7751

建交労秋田県本部「なかま」クイズ係



佐藤正樹 57歳
ダンブ支部千秋分会

仲間の声

明けましておめでとうございませう。その後に続く挨拶は、「今年は雪が降らない」といった暖冬、小雪の会話が誰しも多いのではないのでしょうか。異常とも思える様な暖冬に、春以降大きな自然災害がなければいいな...と願う、この頃です。

戸外に置いている鉢植えのアザレア(西洋ツツジ)の華が咲き、ナニワズの花も咲きかけている。初めて目にする光景。例年春に咲くのだが、暖冬で季節を間違えたようだ。温暖化の影響なのだろう。山の雪も極端に少ない。春先の水不足、集中豪雨、猛暑、などの自然災害が今から心配になる。温暖化対策が急務といえる。

最近知ったのだが、風力発電は供給が不安なため、バックアップ電源として火力発電所建設が必要なのだと言った。「エコだ。温暖化対策だ」という企業や行政の宣伝文句を鵜呑みにしてはいけないらしい。

個人加盟 笹 耕市72歳